

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	ミンダナオ島ピキット・マリダガオ河沿い地域において、紛争被害に遭った子どもたちの初等教育環境を向上させ、草の根レベルでの平和を定着させること。
(2) 事業内容	【ハードコンポーネント】 (イ) スルタン・メモリアル中学校での新築1棟6教室の建築 (ロ) 同中学校教室備品の整備 (椅子や机、黒板等) 概要： 建設業者選定方法変更による当初計画に変更があったものの、現時点までに建設工事が順調に進んでおり、7月頃の完成予定である。 計画との相違点： 見積で最低価格を出した建築業者との契約を予定していたが、業者選定の透明性を高めるために、「公開競争入札」方式に切り替えた。 活動内容 ・公開入札方式への切り替えと入札準備 (11月～1月) ・公開入札 (2月)：地方紙及び町役場における競争入札公示、入札前説明会の開催、入札開示、落札業者確定 ・落札業者との契約等 (3月)：落札業者との契約、学校や村との安全管理や労働者雇用等に関する最終確認会議開催。 ・校舎建設開始 (4月)：資材の搬入、所定の工事の開始、実施団体エンジニアによるモニタリング 【ソフトコンポーネント】 (ハ)「平和の学校 (SOP:School of Peace)」準備活動 (ニ)「平和の学校 (SOP:School of Peace)」研修 (ホ)「ミンダナオ子ども議会」の開催 概要 前期に予定されていた研修はすべて終了した。 計画との相違点 軽微な研修実施順序の変更はあったものの、2012年4月時点で実施予定の研修は全て終了しており、概ね順調に進んでいる。 活動内容 (ハ)「平和の学校 (SOP:School of Peace)」準備活動 ・テーマ：「平和の概念」や「平和の学校 (SOP)」の基礎 ー1)2月3日 (金)～6日 (月) 会場：南部ミンダナオ大学 受講者：ティヌトゥラン村の小学生30名 ー2)2月8日 (水)～11日 (土) 会場：南部ミンダナオ大学 受講者：ティヌトゥランとバラティカン村のリーダー30名 ー3)3月30日 (金)～4月2日 (月) 会場：南部ミンダナオ大学 受講者：バラバック、ヌグアン、ティヌトゥラン村の地域リーダー44名 ー4)4月10日 (火)～13日 (金) 会場：南部ミンダナオ大学 受講者：ティヌトゥラン村の中学校生徒27名 (ニ)「平和の学校 (SOP:School of Peace)」研修 小学生対象

	・テーマ:「尊厳と権利」「コンフリクトマネジメント」(1)(2) ー5)3月10日(土)会場:スルタン・メモリアル小学校 受講者:ティヌトゥラン村小学生115名 ー6)3月25日(日)会場:スルタン・メモリアル小学校 受講者:ティヌトゥラン村小学生71名 中学生対象 ・テーマ:「尊厳と権利」「コンフリクトマネジメント」(1)(2) ー7)2月18日(土)会場:スルタン・メモリアル小学校 受講者:ティヌトゥラン村中学生117名 ー8)3月3日(土)会場:スルタン・メモリアル小学校 受講者:ティヌトゥラン村中学生87名 教師対象 ・テーマ:「人生と平和」 ー9)2月24日(金)～26日(日)会場:南部ミンダナオ大学 受講者:ティヌトゥラン村小学校及び中学校教師と校長20名 ・テーマ:「平和教育に関する大統領令と教育省通達」 ー10)3月13日(火)～14日(水)会場:ダバオ医科大学研修センター 受講者:対象7か村の小学校、中学校校長、教育省関係者26名 ・テーマ:「心と平和」 ー11)4月21日(土)～23日(月) 会場:Mindanao Training Resource Center 受講者:ティヌトゥラン村小学校及び中学校教師と校長23名 地域リーダー対象 ・テーマ:「人生と平和」 ー12)3月20日(火)～22日(木)会場:南部ミンダナオ大学 参加者:ティヌトゥラン村地域リーダー15名 (ホ)「ミンダナオ子ども議会」の開催 ・プログラムの準備及び会場選定(11月～1月)
(3) 達成された効果	【期待される成果1】(後期達成見込み) 現在建設中の校舎が7月頃に完成した時点で、対教室平均生徒数が、50人以下となる見込み。 【期待される成果2】(後期達成見込み) 前期予定の研修が全て終了しており、後期末に「平和の学校」宣誓式が行われ、証明書が発行される見込み。 【期待される成果3】(後期達成見込み) 前期研修を通じて、現時点で196人が「暴力に頼らない争いの回避方法」を知っていると返答しており、現時点までに目標の半分は達成された。 【期待される成果4】(後期達成見込み) 前期、順調に準備が進められており、後期に議会が開催され、達成される見込み。
(4) 今後の見通し	【ハードコンポーネント】7月頃までには校舎が完成し、付属の備品も含めた納入が行われ活動が終了する見込みである。 【ソフトコンポーネント】引き続き、予定されている研修を実施し、「平和の学校」を作り上げて行くとともに、教員が研修での学びを実践する際の補助を随時行っていく。また、「ミンダナオ子ども議会」の開催に力を注ぎ、異文化異民族間での相互理解を促進する。